

**相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市**の取組の一つ

「南万騎が原駅周辺リノベーションプロジェクト」において

**「住み替え循環の促進による郊外住宅地再生プロジェクト」の提案が、  
国土交通省「スマートウェルネス住宅等推進モデル事業」に採択されました**

横浜市と相鉄ホールディングス(株)は、相鉄いずみ野線沿線における「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市」(※1)の取組の一つとして、南万騎が原駅周辺地域で駅前の商業施設の再整備に併せ、子育て世代から高齢者まで幅広い世代が安心して居住できる次世代型の郊外住宅地のモデルとなる「南万騎が原駅周辺リノベーションプロジェクト」を進めています。

その一環として、相鉄不動産株式会社を代表提案者とする4社は、国土交通省が所管する「スマートウェルネス住宅等推進モデル事業」(※2)に、高齢者と若年層が活躍し住み続けるまちを目指した「住み替え循環の促進による郊外住宅地再生プロジェクト」を提案申請し、平成27年(2015年)10月8日に採択されました。事業の概要は別紙のとおりです。

なお、横浜市は、提案事業に対する推薦を行っています。

※1「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市」とは

国から「環境未来都市」に選定されている横浜市と、相鉄ホールディングス(株)では、「相鉄いずみ野線沿線における『次代のまちづくり』の推進に係る包括連携協定」を締結し、相鉄いずみ野線沿線に存在する豊かな自然環境や人的資源・低未利用地等の地域資源を活用して、「環境に配慮したまちづくり」「多様な年齢層にとって住みやすいまちづくり」を推進しています。

この取組は、環境未来都市・横浜の主要な取組である「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」に位置づけられています。



※2「スマートウェルネス住宅等推進モデル事業」とは

高齢者、障害者、子育て世帯等の多様な世代が交流し、安心して健康に暮らすことができる「スマートウェルネス住宅」を実現するため、サービス付き高齢者向け住宅の整備、住宅団地等における併設施設の整備、高齢者、障害者、子育て世帯の居住の安定確保・健康維持増進に係る先導的な住まいづくりの取組みを支援する事業です。

お問合せ先

建築局住宅再生課長

温暖化対策統括本部環境未来都市推進課長

大友 直樹

岩岡 敏文

Tel 045-671-4543

Tel 045-671-2477